

悩んだら『歎異抄』

— 親子・家族関係の相談からカウンセラーが見つけた光

とみた ふじや

富田富士也 著

▼46判・並製カバー・153頁 定価 二、〇九〇円

2024年8月刊行



『歎異抄』の言葉には人とのつながりを見出し、気持ちを分かち合うための発想の転換があることを、長年の相談活動から明らかにする。

【目次】

はじめに

- 1 「かあちゃんだよ」と迎えにきてほしかった気持ち
わかりますか〈撰取不捨〉
- 2 こんな自分に生きる価値はありますか〈いはんや悪人をや
得るものは何もなかった〉〈弟子一人ももたず〉
- 3 働くことしか取り柄のない人間なんです
〈信ずるほかに別の子細なきなり〉
- 4 あえて夫婦で争う必要はありませんでした
〈無礙の一道〉
- 5 無職の息子と笑いあっているだけでよいのか
〈おなじころにてありけり〉
- 6 自分のことを自分で決められません〈弥陀の本願〉
- 7 両親のやり切れない気持ちにどう応えたらいいのですか
〈非行・非善なり〉
- 8 父は強い人だから傷つくなんて考えられません
〈二つなり〉
- 9 偉そうな態度は寂しさの照れ隠しなんです
〈親鸞一人がためなり〉
- 10
- 11 年越しの日だけに帰宅する父に緊張する家族です
〈父母の孝養のためとて〉
- 12 バラバラな家族で良かったかもしれません
〈往生の正因〉
- 13 親の本心を知りたくて「良い子」をやめてみました
〈智者遠離〉
- 14 家族に直接聞けない父親です
〈往生かなふべからずとおもひて
あとがき〉

◆著者略歴

富田富士也 (とみた ふじや)

一九五四年静岡県出身。子ども家庭教育フォーラム代表。教育・心理カウンセラー。民間の青少年相談援助機関を設立後、若者の「引きこもり」問題に関わり続け、三〇年以上にわたってカウンセリング・マインドの生活・日常・庶民化を心がけている。
この間、千葉明德短大幼児教育科客員教授、千葉大学教育学部非常勤講師、文京学院大学生涯学習センター講師を務め、相談員、教育・福祉臨床を目指す人たちと「関係性」に依拠したカウンセリングを学び合っている。
主な著書に『還る家』はあります(信濃毎日新聞社)、『いい子を悩ます強迫性・パーソナリティ「障害」全対応版Q&A』(ハート出版)、『だっこ、よしよし、泣いていいんだよ』(宣協社)ほか多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
富田富士也 著	
法藏館 定価 二、〇九〇円	
『悩んだら』『歎異抄』	
親子・家族関係の相談から	
カウンセラーが見つけた光	
ISBN: 978-4-8318-5655-5 C0015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗・教育